

推進項目	取り組み項目	取り組み内容	取り組み実績	項目別計画額		達成率 (%)
				項目別計画額	項目別実績額	
2歳入の確保【7項目】	38企業誘致の促進	企業の立地を促進し、税収増や雇用の拡大に努めます。	19年度から黄金沢土取場の跡地利用については、地権者会や県、国との話し合いを進めたが意思統一するまでには至らなかった。なお、ふるさと平泉会など関東方面を中心に企業の誘致活動を実施した。	840千円	19,578千円	2330.7
	39歳入確保策の検討	あらゆる機会をとらえて歳入の増進策を講じます。 【検討対象】広報誌等への広告掲載、視察対応の有料化など	20年度から公用封筒に有料広告の掲載を行った。また、ホームページへのバナー広告の募集を進めるとともに、町広報誌への有料広告にも取り組んだ。合わせて、ふるさと納税制度のPR活動も推進した。			
3歳出の抑制【6項目】	40人件費の抑制	給与削減を行い、総人件費を抑制します。 【目標】(H18)8.9億円 5~10%削減(H22まで)	20年度は、職員の給料削減を管理職5%、一般職2%で実施。21~22年度は管理職2%で実施した。	155,750千円	15,280千円	9.8
	41物件費の抑制	物件費を削減します。 【目標】(H18)4.9億円 対18年度予算比5%削減(H22まで)	18年度は3%のマイナスシーリングや旅費規程などの見直しにより前年比8%程度削減。19~20年度は一般経常経費については枠配分方式を採用し物件費の抑制に努めた。21~22年度は積上げ方式により抑制に努めた。	48,000千円		
	42公共事業費の抑制	世界遺産登録関連事業や老朽化し危険度の高いものに厳選し、公共事業費(単独事業)の抑制を図ります。 【目標】25%削減	地域課題により、軽微な公共事業を地域住民が自ら実施したほか、町職員が直営で行うなどし、公共事業費の抑制に町民一体となって取り組んだ。21年度からは農地・水・環境事業の実施により公共事業の抑制が図られた。	34,230千円		皆増
	43負担金、補助金の見直し	補助基準や期間等のルールを確立し、ゼロからの積み上げにより負担金、補助金の見直しを進めます。 【目標】補助金5%削減(対18年度予算比・H22まで)	18年度は各種団体の補助金等の見直しを行い、対前年度比7%の削減、19年度以降は同5%の削減に取り組んだ。			
44行催事の見直し	町主催の行催事の廃止・統合や簡素化を進めます。 【検討対象】敬老会の対象年齢の引上げなど	19年度には敬老会の対象年齢を見直し、満80歳以上に引き上げて実施し、健康福祉まつりについては廃止した。また産業文化祭開催の方法や内容の見直しについて検討し、22年度からは芸術文化祭を分離して実施した。				
45公共施設の統廃合	施設の設置目的や老朽度等を総合的に勘案し、統廃合を進めます。	20年度に平泉中学校の整備方針を改築することで決定。幼保の運営一体化を目指し検討、21年度に実施。22年度には町体育館の耐震診断を受け解体、建設に向けたワークショップを開催した。				
4公営企業等の健全化【2項目】	46特別会計繰出金の縮減	使用料の見直しを行い、一般会計から特別会計への繰出金の縮減を図ります。 【目標】3~5%削減(H22まで)	19年7月から上水道、簡易水道料金の3%アップ改定を、20年度には下水道、農業集落排水使用料の10%アップ改定をそれぞれ図り、一般会計から特別会計への繰り出し金縮減を図った。			
	47公共下水道事業及び農業集落排水事業の利用促進	下水道事業及び農業集落排水事業の経営健全化の観点から水洗化等の向上に努めます。	工事前後の説明会と一部広報配布などによる啓発活動を実施し水洗化率の向上に努めた。【水洗化率】公共下水道71.5%(18年度) 74.2%(22年度) 農業集落排水76.7%(H18年度) 80.6%(H22年度)			

町内の放射線量測定結果

福島第1原子力発電所の事故による放射線量の影響が心配されています。放射能対策は国が実施することが原則ですが、町では独自に調査を実施して結果を公表しています。

町内9カ所で測定

町では6月27日の町内小中学校・幼稚園・保育所の5カ所の測定から、測定箇所を9カ所に増やして、定期的な測定を実施し、測定結果をホームページで公表しています。

9月からは各行政区内にも測定箇所を増やして、測定を実施しながら結果についてお知らせしていく予定です。町には震災前の放射線量の測定値がなく、原発事故の影響が今回の測定値にどの程度関係しているのかわかりませんが、平常の状態にはないと考えられることから国で示している暫定基準値を測定結果の判断、評価する指標としています。現在までの測定結果は、下表のとおりです。

基準を全て下回る

いずれの測定でも、国が線量低減対策の指標とする1時間当たり1マイクロシーベルトと文部科学省・厚生労働省による避難区域等の外の学校等の校舎・校庭等の利用判断に係る暫定的な考え方に基づき屋外活動制限の指標である1時間当たり3・8マイクロシーベルトに対し、全ての測定場所でも基準を下回る結果となりました。

放射線を正しく理解・正しい対策として

▼外部被ばくとは
— 体外から放射線を浴びることを外部被ばくといえます。

放射線は測定地点から2倍の距離を取ると、線量は4分の1に減ります。公共機関が測定し、高い測定値が出た場所には近づかないことが大事です。

▼内部被ばくとは
— 食品などから体内に入ることによって被ばくすることを内部被ばくといえます。

通常の食品にも放射線は含まれていますが、流通している食品は、食品衛生法の基準値を下回っているので安全です。

安全・安心のために

町では今後、各行政区内にも定点測定所を設け定期的な測定を実施して、結果の公表と関係部署が連携した対策を随時行っていく予定です。また広報やホームページを通じて情報の提供や、正しい知識の啓発に努めていきます。

問い合わせ先
町民福祉課 ☎46-5562

放射線量測定結果

施設名	測定高 (メートル)	測定値 (マイクロシーベルト/時)				
		6月27日	7月19日	8月2日	8月9、10日	8月16、17日
平泉中学校 (校庭)	0.05				0.25	0.31
	0.5	0.25	0.31	0.27	0.27	0.30
	1.0	0.25	0.31	0.28	0.26	0.29
平泉小学校 (校庭)	0.05				0.27	0.29
	0.5	0.24	0.28	0.28	0.28	0.28
	1.0	0.25	0.29	0.30	0.28	0.28
長島小学校 (校庭)	0.05				0.29	0.27
	0.5	0.24	0.31	0.28	0.28	0.30
	1.0	0.24	0.29	0.28	0.26	0.28
二葉きり園 (園庭)	0.05				0.33	0.32
	0.5	0.29	0.35	0.32	0.31	0.32
	1.0	0.27	0.33	0.31	0.29	0.31
長島保育所 (園庭)	0.05				0.32	0.32
	0.5	0.25	0.29	0.28	0.31	0.30
	1.0	0.23	0.27	0.28	0.26	0.27
平泉駅 (駐輪場付近)	0.05				0.35	0.28
	0.5			0.26	0.22	0.25
	1.0			0.26	0.21	0.25
毛越寺駐車場 (トイレ付近)	0.05				0.36	0.34
	0.5			0.32	0.29	0.32
	1.0			0.31	0.26	0.31
中尊寺駐車場 (トイレ付近)	0.05				0.39	0.36
	0.5			0.24	0.30	0.25
	1.0			0.19	0.22	0.20
志羅山児童館 (砂場付近)	0.05				0.22	0.24
	0.5			0.25	0.25	0.26
	1.0			0.28	0.28	0.28